

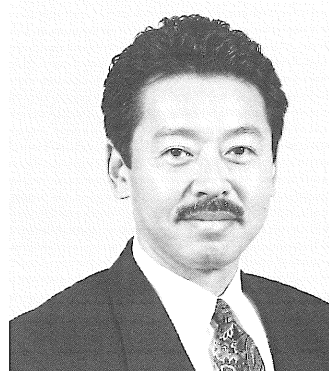
世紀末を迎えようとしている現在、世界は経済の混迷やその体質の激変によって大きな転換期に差しかかっている。それに伴って、医療分野においてもその体制の整備と改革は現在急を要している。リーズナブルなコストで正確な治療を素早く提供する事と多様なニーズにどう対処できるかが非常に大切になってきている。

診療の現場においても、今までの問診や触診の経験だけに基づく診察から、科学技術の進歩に伴う臨床検査機器の小型化や高性能化により、リアルタイムな検査データをベースとした診療形態へと大きく変わってきている。そして臨床検査機器は、そのスクリーニング機能の高さから、第一線の現場への普及が急速に進んでいる。従来の経験だけでは診察できず、複雑多岐にわたる疾病構造への対応の要望の高まりと相まって、今日の治療に臨床検査装置は必要不可欠な製品となってきている。

一方、患者のニーズも変化してきており、今までの単なる疾病の治療だけの要求から治療の短時間化や精度の高さ、あるいは精神的、肉体的負担の軽減などを求める傾向が増加するとともに、今後患者の高齢化比率の高まりに伴う在宅治療への要求も強くなると考えられる。また、人々の健康維持への関心は高く、成人病検査は言うにおよばず、もっと日常的にまた簡単にチェックできる各種検査機器が、近い将来、多く活躍する場が創出される可能性は大きい。事実、欧米においてその傾向が最近顕著になりつつあると認識している。

今後、これらのニーズに対してホリバは、病院における集中治療室 (ICU) や手術室での Point-of-care Testing や入院患者の状態把握のための Bed-side Testing などに適した信頼度の高い機器の充実、医院、診療所における初期診療のための On-site Testing, の充実に貢献できる、コストパフォーマンスの良い臨床検査機器の提供を続けて行きたいと考えている。

さらに、現在まで培って来たハンディタイプの汎用機器から建家を含む大型研究ネットワークシステムなど、計測分析技術や情報処理技術を生かした高性能、高付加価値の検査機器を提供するとともに、多種多様な専門特殊技術の要求に対応するために、グローバルレベルでの各種研究機関や企業と、共同研究や技術販売提携を積極的に進め、人類の健康とその幸せのために貢献して行きたいと考えている。



代表取締役社長
堀場 厚

Atsushi HORIBA
President